

■国際刑事裁判所（ICC）の現役日本人裁判官にインタビューを実施しました（令和3年11月29日）

令和3年11月29日（月）、オランダのハーグにある国際刑事裁判所（ICC）の赤根智子判事と当部の黒木宏太教官ほか国際協力部教官・国際専門官がオンラインにて接続をし、インタビューを実施させていただきました。赤根判事は、昭和57年に検事任官され、東京、名古屋、仙台等の検察庁で勤務されたほか、アメリカ留学、法科大学院の教員等も経験され、その後、当部部長、国連アジア極東犯罪防止研修所長、法務総合研究所長等を歴任されました。本インタビューでは、これまでのご経験や国際刑事裁判所（ICC）における現在の業務内容を踏まえて、法整備支援をはじめとする日本の法司法分野での国際協力や国際分野で活躍する法曹について、お話いただきました。



【インタビューに応じていただいた国際刑事裁判所赤根智子判事】

約2時間にわたる本インタビューは、国際刑事裁判所（ICC）での裁判官業務は、世界中の法曹と共に仕事ができるというやりがいがある一方で、日々困難の連続であり、1週間の終わりにはサバイバルしたと感じられるというお話から始まり、多岐にわたるテーマに及び、大変興味深い内容で、あっという間でした。本インタビューの内容は、令和4年3月に発行されるICD NEWS 90号に掲載予定ですので、是非ご覧いただければ幸いです。



【インタビューの様子（赤根判事は上段右から2番目）】